

地方創生で活気のある町に 議会だより

# かつら

## No.89

2021.4.30



2. 令和3年度 一般会計予算総額 45 億円超  
勝浦町第6次総合計画スタート!

4. 〈議案審議〉当初予算 / 補正予算

7. 〈新特集!〉OVERTALK 勝浦アップデート

『 儲ける農業 ー勝浦の農業が向かうところー 』

12. 一般質問

22. 町民の声

23. ぶっちゃけどうなの? 広報モニター会議

議長コラム 勝浦想生

24. 地域に生きるONE TEAM

『 地域の人によりそい隊 』

編集後記

# 令和3年度一般会計予算 総額45億5300万円

「住み続けたい」「帰ってきたい」「暮らししてみたい」阿波かつうらまちづくりをめざして  
勝浦町第6次総合計画スタート!

3月ひな会議は、3月1日から19日まで開催し、令和2年度補正予算、3年度一般会計予算、特別会計予算、条例改正等31議案と発議1議案を審議し可決しました。また、一般質問に9議員が登壇し、町政に切り込みました。

## 勝浦病院

工事請負費、医療機器購入費等

13億2100万円

12月完成、令和4年4月開院予定。

## 熟成みかん駅ナカポスター 量販店PR

令和3年3月に大阪市内3駅構内大型ポスター展示、量販店でのPR

350万円  
(令和4年も継続)

## みんなの運動会

町民体育祭にかわる取り組み

280万円

## 宅地造成事業

横瀬上川原地区に4区画

2250万円

## 西岡簡易水道 区域拡張

西岡地区水道改良工事及び山田地区24戸加入に向けての事業認定作業。山田地区24戸が西岡簡易水道に編入し区域拡張する。

1340万円

## 恐竜事業推進

恐竜関係地域プロジェクトマネージャー業務委託

700万円

令和3年度からの新制度で、恐竜関係で学術面、町おこしにつながる取り組みを行う。

## 防災対策強化事業

地域防災マネージャー（防災監）を置く

771万円

## 地籍調査の推進

坂本・生名地区の調査継続

1億2033万円  
(繰越4050万円を含む)

一般社団法人国土と未来振興協会に二項委託することにより面積2.8kmの目標。現在20%の進捗で20年後の全町完了を目指す。

## 子育て交流支援センター

子育て交流支援センター駐車場整備・遊具設置

998万円

駐車場を増設、小児用遊具設置  
(ブランコ・ロッキング遊具)

### 令和3年度特別会計予算

国民健康保険	7億6185万円
簡易水道事業	3億1257万円
介護保険	9億7766万円
後期高齢者医療	1億1657万円
勝浦病院事業	7億8717万円
集落排水	5252万円
物産販売	1377万円

# 当初予算

議案審議

## スペシャリストを採用し、事業体制の強化をめざす

令和3年度は、各分野のスペシャリスト採用への予算配分が手厚い。防災分野では防災監（地域防災マネージャー）を、教育分野ではICT支援員を、勝浦町において新たな観光の柱となる「恐竜事業」では恐竜関係地域プロジェクトマネージャーを、それぞれ予算化している。各分野の専門員がこれまでの知識と経験を活かして事業推進することで、より効果的な事業遂行が期待できる。

### 防災・まちづくり

**防災監に元自衛官を採用  
防災事業全般を担ってもらう**

令和3年度から採用される地域防災マネージャー（防災監）とは。

#### 中瀬総務防災課長

自衛隊の退職者を採用し、発災時の連絡調整、防災訓練の企画等の防災事業全般を担ってもらう。  
防犯灯の設置は進んでいるのか。

#### 総務防災課長

令和2年度は各地区1カ所整備したが、3年度については未定である。

役場駐車場が西側に増設されるが、完成はいつになるのか。

#### 山田副町長

4月に発注し、8月完成予定だ。  
避難所看板の設置が遅れている。いつできるのか。

#### 総務防災課長

2年度末にかけて設置が始まり、3年度完了予定だ。

### 防犯カメラ 県が設置予定

防犯カメラの設置が必要でないか。

#### 総務防災課長

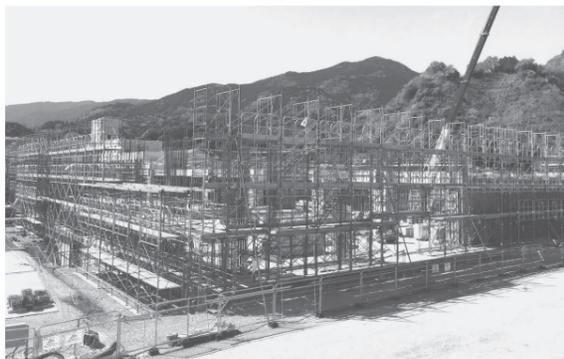
県が河川カメラを設置予定だが、町として設置の予定はない。

### 勝浦病院 医師確保に向けて440万円予算化

医師確保事業として440万円を予算化しているが。

#### 寺尾企画交流課長

医師確保に向け、コンサルタンに業務委託し、採用につなぐ



順調に工事が進む 新・勝浦病院

ば成功報酬を支払う。

**杉の子基金に替わる起業支援  
仕組みを考える**

「杉の子基金」は事業採択ごとに基金を取り崩しているが、今後の見通しは。

#### 企画交流課長

何件かの問い合わせがあり、3年度中に枯渇することが予想され、継続して起業支援できる仕組みは必要と考えている。

### 教育・子育て

運動公園の看板を更新とのことだが、花壇の整備等、環境整備が優先されるべきでないか。

#### 石木教育委員会事務局長

3カ所の看板を350万円で作る替えるが、花壇等の整備についても再検討したい。

### ICT支援業務委託費60万円

ギガスクール事業（1人1台のタブレット整備）でICT支援員の業務内容は。

### 教育委員会事務局長

ICT支援員の業務として各校を週4日、2時間ずつ巡回し、授業計画策定や操作研修等をお願いする。委託先については町内人材の活用も含め検討している。

#### ICT支援員

文科省が学校に配置を推進する、学校のICT化（タブレット導入など）を実践的に支援する人物。

### 阿南方面バス事業

令和5年4月以降は検討する

阿南方面の通学バス助成制度が継続されるが、令和3年度入学生が卒業する令和6年3月まで事業継続するのか。

#### 野上町長

令和5年3月末までの事業継続は決まっているが、それ以降については今後、検討する。

### 子育て支援センターに駐車場整備

子育て交流支援センター駐車場整備費の内容は。

### 医療・福祉

#### コロナワクチン接種

4月から順次（16歳以上全町民）

新型コロナワクチンの予防接種予定は。

#### 笠木勝浦病院事務局長

接種費用として一人当たり2100円だが、町民負担はない。全町民対象（16歳以上）で4月から順次接種を開始する。

新病院で整備する医療機器

#### 木村福祉課長

子育て支援センター西側、県道沿いの用地を借り入れ、利用者用の駐車場9台分を整備する。

### 助産師会訪問事業等委託料59万5000円

コロナ禍での出産、子育ては不安が大きい。この事業の内容は。

#### 福祉課長

従来の保健師の訪問事業に加え、徳島県助産師会に委託し、助産師が産前1回、産後の1回妊産婦の訪問ケア事業を行う。

はあるのか。

#### 勝浦病院事務局長

CT、レントゲン機器は耐用年数が過ぎており、新築に合わせ更新予定。

医療事務の外部委託が進んでいるが。

#### 勝浦病院事務局長

経費的には増えるが、専門職のノウハウを生かし適正な医療報酬が確保できる。

### 婚活支援サイトの登録料

全額補助で婚活促進を図る

婚活支援補助金40万円の内容は。

#### 木村福祉課長

婚活支援団体が運営する「マリッサとくしま」への登録料1万円を全額補助することで、婚活促進を図る。男女の未婚者（約400人）の約1割の登録を予定している。

### 税

**税収減は予想されるが  
雇止め等の相談なし**

コロナ禍による雇止めや収入減少が予想されるが。

#### 藤井税務課長

コロナ禍での税収減は予想されるが、現在のところ雇止め等の相談は受けていない。

25〜39歳の未婚率（平成27年度）

男性58・3%  
女性39・2%

# 正 算 補 予

議案審議

コ ロ ナ 関 連

① 新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業 224万円



予約した？ ワクチン接種

② 教育・文化

ア 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 250万円  
 イ 新型コロナウィルス感染症対策給食費助成金 964万円  
 合計 1214万円

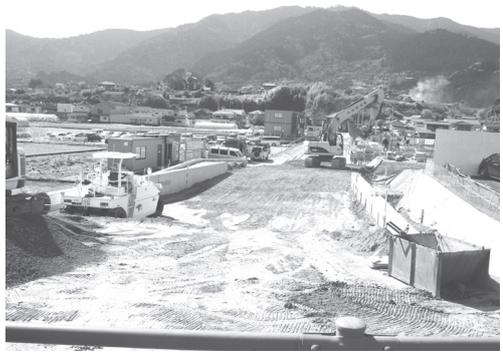
③ 新型コロナウィルスワクチン接種事業 2635万円

④ コロナ生活支援事業  
 ゴミ袋配布(500万円他)  
 合計 682万円

ま ち づ く り

① 水源涵養林確保事業 530万円

② 町道棚野八石線整備事業及び橋谷谷川改良事業 2189万円



町道認定された棚野八石線

③ 国土調査(地籍調査)事業 3842万円

可決

町議会議員及び町長の選挙費用一部を公費負担する条例  
 勝浦町議会議員及び勝浦町長の選挙について、費用の一部を公費負担する条例を可決。  
**公費負担の対象**  
 ① 選挙運動用自動車の使用  
 ② 選挙運動用ビラの作成  
 ③ 選挙運動用ポスターの作成  
 公費の支給については条件や金額の上限が定められている。

自己負担を軽減することで候補者不足解消へ

但し 得票が左記の候補者には支給されない。  
 町長選挙…有効投票総数の10分の1以下。  
 町議会議員選挙…有効投票総数を議員定数で除した数の10分の1以下。

詳細は総務省のホームページ参照

「町村の選挙における公営拡大と供託金導入について」



可決

オンラインで委員会開催を可能とする条例改正  
 インターネットを介して映像と音声により相手の状態を相互に認識しながら通話ができる方法(オンライン)で委員会開催を可能とする条例改正案を議員提案し、可決。

徳島県下初！  
 委員会のオンライン出席

新型コロナウィルス感染症拡大や大規模災害発生時にも委員会開催を可能とするための改正であり、徳島県下では初めての取り組み。



▲オンライン会議の様子 3月20日 徳島新聞▶



「OVER TALK(オーバートーク)」は、毎回テーマに沿った住民に集まっていただけ一つのテーマについて、話しすぎていただく(≒オーバートークしていただく)、誌面・インターネット動画連動型の新企画です。

《テーマ》  
もう  
「儲ける農業」  
—勝浦の農業が向かうところ—

話しすぎるほど  
語り尽くそう  
私たちの町のこと

温州みかんを中心に  
果実が6割を占める勝浦農業

本題に入る前に、勝浦町の農業についておさらいしたい。

勝浦町は、町の3分の2(47・2km<sup>2</sup>)が山林で、野菜や果樹、水稲などを栽培している耕地面積は6・38km<sup>2</sup>と町全体の面積の1割にも満たない。限られた農地を有効活用するため、みかん栽培が盛んであり温州みかんが勝浦農業の基幹作物である。

平成30年農業産出額(推計値)29・6億円のうち、みかんを含む果実が18・7億円、野菜2・5億円、花き1・4億円、米0・9億円と、算出額の63%ほどを果実が占めている。

高齢化に伴う耕作放棄地の拡大  
急がれる後継者不足への対策

近年では「勝浦みかん」のブランド化を推進しており、出荷ダンボールの統一や関西市場への積極的な売り込み、通販番組

《プロローグ》

勝浦農業の現状

との連携による認知度の向上等に取り組んでいる。さらに付加価値の創出に向け、6次産業化推進の基幹施設としてかんきつテラス徳島内に「オレンジフアクトリー」を整備している。

ここ数年間は販売価格も安定しているが、一方で後継者を含めた担い手不足に直面しており、2015年の農業従事者平均年齢が全国で67歳、65歳以上の割合が63・4%に對して、勝浦町では平均69歳、65歳以上の割合は70・2%であり、それに伴う耕作放棄地の拡大とともに、早急に対策を講じないと、軌道に乗りつつある勝浦農業を継続的に発展させることが難しくなる。

そこで、さらなる一手が必要である局面の今、様々な立場で勝浦農業について議論してもらい、議会としても課題の整理をする中で、新たな仕組みの創造をめざして議会だよりの特集記事を企画した。

第一回目となる「OVER TALK」のテーマは、「儲ける農業」。「儲ける」と言うとき、農業を継続・発展するためには、いかにして収益をあげるかを考える必要がある。今回は、5人の若手農業家に集まっていただき、嫌厭けんえんされがちな「儲ける」という話題に踏み込んで、実績や実情なども踏まえながら「農業のこれから」を語っていただいた。



このコーナーは、誌面と動画の連動企画です。インターネット上で動画を見ることができます。

<http://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/feature/index.html>



《トークテーマ1》  
儲ける農業（安定した手取り収入）を確保するため、どのような取り組みが必要か。

就農目的・目標の明確化と積極的なPRがカギ

——今回のテーマは「儲ける農業」勝浦の農業が向かうところ」ということで、皆さんに集まっていたきました。タイトル「オーバートーク」には、「語り尽くす」という意味があるので、勝浦の農業の未来について、本音で語っていただきたいと思っています。本日はどうぞ、よろしく願います。

全員 よろしく願います。

——ではさっそく一つ目のトークテーマは「儲ける農業のために、どんな取り組みが必要か」ということですが、いかがでしょうか。

内容 当たり前のことですが、品質を確保しつつ出来るだけ農業と

目標所得を決め

品目・面積・経営の計画を立てる

仕事柄、多くの新規就農者と話す機会があるが、具体的なイメージを持って農業に取り組む方は少ない。自らが希望する具体的な目標所得を定めることで、栽培品目や耕作面積、経営計画を立てることが出来る。農業次世代人材投資資金等を活用して、就農後の数年間を給付金により所得補填する間、ノウハウの習得や農業経営のイロハを学んで欲しい。

安定した品質と収量を確保することができれば、県内外の大手取引先と強気の交渉が可能となり、価格の安定、すなわち「儲け」の確保につながる。

また、後継者や耕作放棄地問題が待ったなしの状況だ。労働

《オブザーバー》

具体的なイメージを持って 計画的な農業に

株式会社 VEGNAVI 森岡峰生（久国）



《オブザーバー》  
森岡峰生（久国）  
株式会社 VEGNAVI 代表。農林水産物卸売、農業全般のサポート業務等を行っている。県内外の大手販売店で、インスタ型産直市運営にも参画。

市場が逼迫している現状では若年層の確保は難しく、転職組や老後に田舎暮らしを求めている都市部の住民にターゲットを絞って、農地と住居の斡旋をパッケージにした移住促進策に取り組むべきだ。高齢農業者が増えるが、短いサイクルで農地の活用や保全を繰り返すことで、自然と農地の集約化も進むのではないかと。ゆとりあるシルバー世代による地域経済への波及効果も期待できるのではないか。

肥料を少なくすることで、効率良く収益を上げられる。

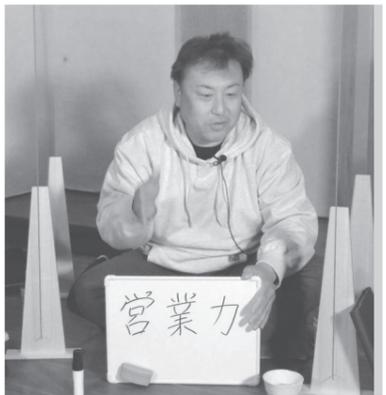
石川 新規就農に際して、どれだけの利益を求められるかにより、「どこで」「何を」「どれだけ」作るかが決まってくる。内谷さんの話にも関連するが、秀品率やキロ単価など、狙った品質も含め「儲ける」基準づくりが大切だと思います。



松下 うちの観光農園なので、お客様に来ていただくために当然のように SNS で情報発信しています。また、満足度を上げるには、接客などのサービス向上が大事なポイントだと思っています。アットホームな雰囲気や質の高い接客を続けることで、来園者数も増えています。

大久保 勝浦町って売り方がメチャクチャ下手なんです。やはり

商品を手にとってもらうためには、適正価格で販売し、特徴を前面に出した表示をすることで、商品とともに多くの情報を消費者に届けることが大事でないかな。



市原 これまで、販売先の確保に苦労してきました。様々な作物を栽培してきましたが、結局は需要のある作物を大量に作ることで、市場の信頼を得ることが出来る。栽培作物の見極めと作付面積の拡大で売り上げを伸ばしています。

——環境や目的、栽培品目の違いなど、「儲ける」の定義は人それぞれだと感じました。石川さんは地方暮らしを望み、勝浦町に移住されたそうですが、様々な職業がある中で「農業」かつ「みかん農家」を選択した大きな理由は何でしょうか。

石川 なんとなく移住先を探していたら、自分たちのイメージに合った地域、職業が勝浦町に揃っていました。農家さんの後継者というカタチで移住しましたが、事前に売り上げや経費、労働時間等を調べて計画を立てる中で、経営として成り立つと判断し移住、就農につながりました。

——新規就農には、綿密な計画をはじめとした準備を怠らない事が大事ですね。

《トークテーマ2》  
後継者や担い手不足解消に向けた方策は。

営農や経営情報の得やすさが 新規就農のハードルを下げる

——続いて、後継者や担い手不足解消に向けた方策についてお聞かせください。

市原 農業は時間と手間を掛ければ掛けるほど、成果として返ってくる。そのため休むことなく仕事をしがちだが、作業員を確保して

《トークゲスト》

若手農業家

町内で、様々な工夫をしながら農業を続ける5人の若手農業家を集めて、オーバートークしていただきました。

うちたやすひろ  
内谷安宏（坂本）  
2012年 就農



比較的自由に時間を使える農業に魅力を感じ、2012年に実家の畑、1町5反を祖父から引き継ぎ就農。みかん、すだち、ゆずを栽培している。

いしかわしょう  
石川翔（与川内）  
2016年 就農



2016年就農。結婚を機に、地方で暮らしたいと考え、勝浦町に巡り合った。みかん農家の後継者となり、みかん8反のほか、すだちなどを栽培しながら今回の会場でもある「あおとくる」を運営している。

まつしたちから  
松下力（石原）  
2017年 就農



後継者として2017年に就農。みかん狩りが楽しめる観光農園の運営と「次郎柿」等の農作物を8.5反ほどの農地で栽培、管理している。

おおく ぼたかお  
大久保尚勇（星谷）  
2001年 就農



県外で就職していたが、2001年に跡継ぎとなった。就農に際してリサーチを重ね、みかんから苺に転作。1.8反のハウスで栽培している。また、6次産業化にも取り組んでいる。

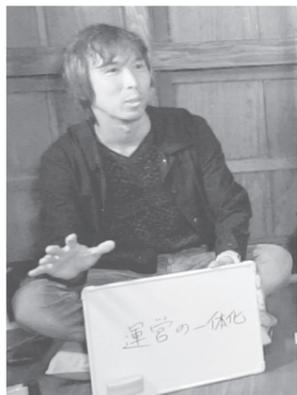
いちほらたけし  
市原賦之（久国）  
2014年 就農



県外で就職していたが、2014年に生まれ育った勝浦町で就農。みかん、おくら、ズッキーニ、ブロッコリー等、様々な作物を借り受けた農地で栽培している。

**松下** すべての人が甘いみかんを欲しめるとは限らず、酸っぱいみかんを好む方もいる。静岡や愛媛等の産地を真似るんじゃなく、お客さんの好みにきめ細かく対応できる、勝浦の特色を生かしたオリジナルを追及して行けば良いのでは。

**石川** 作るモノと場所、労働時間や条件とかもそれぞれで、専業農家に関する様々な運営形態となっている。リモートで仕事しながら農業したり、様々な向き合い方が可能な産業だと感じる。いろんなカタチを許容する多様性が必要となってくると個人的に思う。



いのであれば、町がリーダーシップをとり、求める品種、品質や販売方針などの明確なビジョンを示して、みかん農家を引っ張っていく姿勢が必要でないか。



休める環境が整えば後継者もできるのではないかと思います。

**大久保** 私の場合、サラリーマンも嫌だったが、実際に農業をやりに出したら、さらにしんどかった。農業は、3K「キツイ・汚い・稼げない」のイメージがあり印象が悪い。後継者を育てるには失敗を繰り返しても受け入れる我慢強さが必要だ。

**松下** 補助金や新規事業の案内が役場ホームページでは分かりづらい。事業申請等に対しても丁寧で理解しやすい対応をお願いしたい。農家の意見や様々な情報を発信していけば、農業に参入しようと考えている方々の希望に添えることになり、新規就農や事業拡大に向けての貴重な情報となる。

**石川** 本当に後継者を求めている

のか。自らの農地を今後も残していきたい、もしくは山に帰そうかと思っているのか。様々な住民の意識や想いを地域ごとに共有することで、それらの情報が初めて生かされるのでは。

**内容** 面積あたりの売り上げや経費等の情報を明示することで、新規就農する人が農業経営の目安として見やすいのでは。松下さんと石川さんが取り上げている「情報」についても、町広報に掲載するだけでなく、農業者に発信できる仕組みが必要。

——そういった情報の得やすさが新規就農のハードルをグッと下げる手立てにもなり得るということですね。

**大久保** 県内の農業団体と関わりを持つことで、多くの情報が入ってくる。でも、自分がどれに該当するかを調べるのが大変。

**松下** 現状、こちらから情報にアクセスしなくてはならないが、「君だったらこの補助金がいい」というアドバイスをしてくれるスペシャリストがいるといい。

**市原** 家族経営が多い勝浦農業では、後継ぎがいなければ耕作放棄地になる。また、個選、共選等、出荷先も様々でまとまりがない。このままじゃ、なるようにしかならないと思います。

**大久保** 昔はこの環境が嫌だったけど、県外からの帰省時、勝浦に入ると気温が1度か2度下がり、澄んだ空気のもと星が近くに見えるところが魅力に感じた。この田舎らしさを全面に出して、商品とともに売り出していけば良いと思う。

——勝浦の農業をよくするためにも、勝浦の魅力を再発見するというのも大事ですね。ということで、第一回オーバートークは「儲ける農業」勝浦の農業が向かうところ」というテーマでお送りさせていただきました。ありがとうございました。

**全員** ありがとうございます。



《トークテーマ3》  
勝浦町の農業が向かうべきところは。

勝浦町の個性を活かしながら町・個人のビジョンを明確にする

——最後のトークテーマは「勝浦町の農業が向かうべきところはどこか」という大きなテーマになっていますが、いかがでしょうか。

**内容** 勝浦町として「みかん」を基幹産業として売り出していきたい

**仙才** 興味をひかれたのは石川さんの「多様性」という提案だった。農業を主たるナリワイとして、多様な活動で収入を得る。それほど儲からないが、住み心地重視の田舎生活。行政に何を求めるべきか。強力なリーダーシップか、それともサポート機能か。どちらかといえば、頑張っている人を応援する有能な組織・職員ではないか。

**相原** みかん農家は、ほとんどが後継者がいないので、今後行政として地域共同でサポートする体制の必要性を感じる。今回の若手就農者の意見を参考に、効率的に儲ける「みかん栽培」の議論をすべきと思う。

**麻植** 県外に就職している人も沢山いるはず。コロナの影響もあり生まれ育った町の良さを再認識して貰えるよう、情報発信してUターン農家を増やすことはできないか。行政においては補助金など、分かりやす

《議員考察》

スペシャリスト・組織化の必要性

オーバートークを終え、議員が感じたこと

く使いやすい情報を発信しないと基幹産業は衰退する。

**瀬戸** 新規就農者や事業拡大に向けての情報を、作物ごとの面積当たりの収入を提示し、補助金、助成金とかの活用方法のスペシャリスト（コーディネーター）を設けるとかしたら良いのでは。後継者がいない人は後継者が必要と思っているのか、仕方ないと思っているのでは。農業法人などを作って、運営の一体化をするしかないのでは。

**松田** 農業やみかんは、学べば学ぶほど可能性しかないなと感じている。様々な課題が山積する中で、今回の座談会が今後の勝浦農業の発展につながれば嬉しい。今回、出された課題をどのようにカタチにしていくかが、私たち議員に課せられた使命であると思うし、農業以外についても同じように議論ができるように議会全体で考えていきたい。

《進行役》  
たなかたかひろ  
田中 貴大

神奈川県出身。小学校教員、シンガポールでの日本人学校勤務を経て、現在はNPOと上勝の企業に勤務。自己実現や目標達成を効果的にサポートする〈コーチング〉の認定資格を持つ。

《会場》  
みかん農家の宿  
あおとくる

与川内にある、築105年の古民家を改装した農家民泊。友達の家遊びに来た感覚で、みかん農家にファームステイできる。古本屋「古書ブン」併設。  
<https://aotokuru.com/>









## 町政の“ここ”が聞きたい！

一般質問とは、議員個人が町長などの執行部に対して執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを確認する場。3月・7月・11月に行っている。

まちづくり	星谷橋架け替え 3年度には地元説明会を開催し基本方針を決めたい	国 清	P.13
	地籍調査 6年までに坂本・生名完了	国 清	P.13
	町内フリー Wi-Fi 整備 前向きに検討	瀬 戸	P.15
	地籍調査の地区選定 総合的に判断し決定	瀬 戸	P.15
	「婦人の家」取り壊し 早急に利用者に対して周知したい	麻 植	P.16
	立川 恐竜発掘用地の購入 森づくり支援事業補助金を活用	麻 植	P.16
	バス路線廃止に伴うタクシー助成 要望に合わせ要綱改正する	仙 才	P.17
	分別ステーション未設置地区 設置に向け努力する	相 原	P.18
	平石山鉾山 業者が説明するように指導	井 出	P.19
	町民の移動手段 3年度から課題を洗い出し検討	松 田	P.20
	空き家 45 件のうち半数利用	筈	P.21
税 金	公平公正な徴税推進のために 課税要綱等の整備を検討したい	松 田	P.20
農 業 振 興	婦人の家廃止 6次産業化は「かんきつテラス」で	井 出	P.19
防 災	役場被災時の代替庁舎「整備は進んでいない」	花 房	P.14
	「マイタイムライン」で時間軸での行動計画を	瀬 戸	P.15
そ の 他	コロナ感染対策を施しイベントや飲食店再開・回復	花 房	P.14
	15年間 利用がなかった犯罪被害者支援窓口 住民への周知が必要	仙 才	P.17
	コロナ対策に振り回された一年 病院改築着工・防災対策など完了	相 原	P.18
	町長による職員面談 より厳しい態度で臨む	筈	P.21

過去に発行した勝浦町議会広報や一般質問の全編映像は、公式ウェブサイトから閲覧できます。そちらも合わせてご覧ください。

<http://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/>



# 星谷橋架け替え 概略図などを作製し、進めたい

3年度には地元説明会を開催し  
基本方針を決めたい

——星谷橋は老朽化が進み、未だ危険なまま放置されている。

過去の答弁で「令和5年に架け替え工事着工」とあったが、現状と新年度の取り組みは。

野上町長

星谷橋の現状は、いつ崩れるかもしれない危険な橋であり、す

に基金を積み立てているので、新年度には地元で説明会を開催し、基本的な方向を決めて行きたい。

海川建設課長

架け替え計画については、生名バイパスの交差点から県道新浜勝浦線交差点までと答弁してきたが、今後、施工性、経済性など考慮し概略図を町で作製し、地元の

意見を聞きながら進めて行きたい。

地籍調査 6年までに

坂本・生名完了

——地籍調査は棚野・中山地区が完了し、現在は坂本・生名地区が実施中であるが、その面積と所要年数は。

河野農業振興課長

棚野地区は面積2・7平方キロ、所要年数は7年。中山地区は面積7・5平方キロで、所要年数は7年であった。

実施中の坂本地区は全体面積10・5平方キロで、5年間で約半分が終了し、あと3年で完了する。生名地区は面積5・3平方キロで4年が経過しており、あと2年で完了する。

——地区選定は、どう進めてきたのか。

農業振興課長

調査当初から、要望書を提出していただき、推進体制の整った地区から実施してきた。

町長

今後の地区選定については、生名・坂本地区が完了するまでに検討し決める事になっている。

## その他の質問

- 当初予算から見た重要施策（防災・地方創生・農業関係）



今にも崩れそうな星谷橋 橋脚

くにきよ いちじ  
国清 一治 議員

# コロナ交付金9700万円 4月以降に申請予定

## 役場被災時の代替庁舎

「整備は進んでいない」

——夜遅くに大きな地震が発生した場合、避難所の開設は大丈夫か。

## 中瀬総務防災課長

震度の大きさに応じて3つの非

常時体制がある。避難所の開設については各施設のほうに開設を依頼する。

——役場が被災した場合の代替庁舎である改善センターの施設整備と備蓄品は。

## 総務防災課長

代替庁舎の整備は進んでいない。備蓄倉庫については今後調査研究を進める。

感染対策を施し  
イベントや飲食店  
再開・回復

——新型コロナウイルスの町内への影響と支援の状況は。

## 寺尾企画交流課長

観光交流面では昨年度同時期のイベントがほとんど中止となり大きなダメージがあった

が、現在は感染対策を行った上で開催できている。また、道の駅10周年イベント開催もあり、飲食店などにおいて来店者も増えているようである。

支援状況はプレミアム商品券に300万円、感染予防対策で154件916万円、国の持続化給付金への上乗せ助成が103件1340万円、新商品の開発支援に14件280万円、イベント継続補助金は11件670万円であった。

——国の3次補正交付金の見通しは？

## 企画交流課長

勝浦町への配分予定額は9700万円である。4月以降に事業計画を申請する予定となっており、令和3年度の補正予算での対応となる。



はようせなあ 代替庁舎機能の整備

## その他の質問

- 農村婦人の家の取り壊しについて
- 町道 河川の維持管理について
- 総合計画について
- 広域ごみ処理施設問題について
- ふるさと納税について

はなふさ かついち  
花房 勝一 議員

# 災害時の個人別防災行動計画 事前に決めておくよう周知したい

時間軸での行動計画を

事前に決めるよう周知

—— マイタイムライン（個人別

防災行動計画）策定について。

中瀬総務防災課長

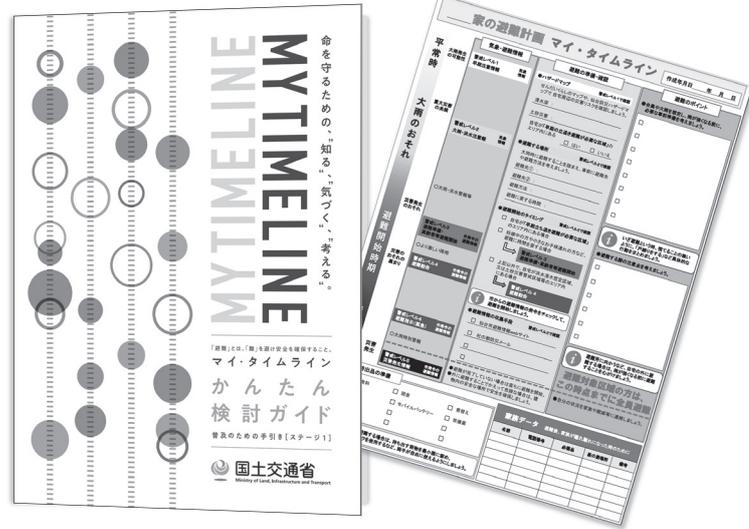
一人一人がいつどう避難するか、防災情報を知り、行動を時間軸で考え事前に決めておくよう周

知していきたい。

—— 子供たちへの防災教育は。

石木教育委員会事務局長

小、中学校ともに町の消防団や自主防災組織の皆様の協力をいただき、避難訓練を実施している。



作らないかんでよ 個人別の防災行動計画（マイ・タイムライン）

町内に10ヶ所あるが、公開されたパスワードやメールアドレスの入力が必要な場所が多い。今後は課題を整理して、統一したルールで運用できるように前向きに検討していく。

総務防災課長

町内フリーWi-Fi整備を前向きに検討

—— 本町においてフリーWi-Fiが整備されている施設は何か所あるか。

海川建設課長

橋谷谷川の暗渠設備設置と周辺盛り土が完了し、今後は山切りを開始する。

沼江バイパス 山切りを開始  
西側仮設工事は終了

—— 工事進捗状況は。

—— 北側法面のシバザクラ植栽計画はどうなっているのか。  
建設課長

2期工事の盛土部のり面対策と同様、第3期工事においてシバザクラ植栽ができないか県に要望していく。

地籍調査の地区選定  
総合的に判断し決定

—— 地籍調査の地区の選定をどうやって決めているのか。

## その他の質問

- GIGA スクール構想
- 固定資産税について

河野農業振興課長

- 地区の協力が得られること。（役員推進体制）
- 調査完了地区に隣接していること。
- 公共事業の計画があること。

この3点を重点項目として総合的に判断して選定したい。

せと 直一 議員

# 農村婦人の家 老朽化進み 歩道設置工事と共に取り壊し

早急に利用者に対して周知したい

——取り壊しに至った経緯は。

河野農業振興課長

生比奈小学校前歩道の設置工事が県で計画され、その計画線上に

おいて婦人の家が一部かかることから、町での対応が求められた。検討の結果、施設の劣化が進んでおり全面取り壊しとなった。

——利用者に対して事前に周知はしたのか。

の様に考えているか。

野上町長

跡地の活用についてはまだ決まっていないが、古紙回収の小屋は残す。

——代替設備としての改善センター改装計画はあるか。

農業振興課長

令和3年度前半に計画し、補正予算をお願いしたい。

立川 恐竜発掘用地の購入

森づくり支援事業補助金を活用

——用地購入資金は。

農業振興課長

県企業局森づくり支援事業補助金を活用する。

——目的は。

農業振興課長

町有林として将来にわたり、水

——更地になる跡地の活用はど

——具体的に連絡が来たのは二年前と記憶している。

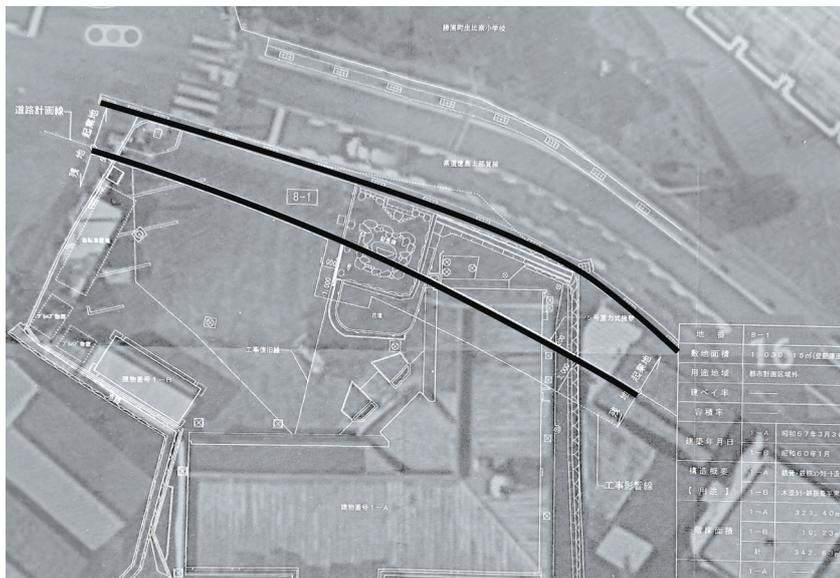
農業振興課長

——農村婦人の家の取り壊しはいつ頃から判明していたのか。

農業振興課長

スケジュールが早まり、十分な周知は行えていない。利用者に対しては早急に案内したい。

道は広くなるけど、代替施設は？



お え ひで き  
麻植 秀樹 議員

# 犯罪被害者条例の制定 全国の動向を見て検討する

15年間 利用がなかった窓口  
住民への周知が必要

—— 犯罪被害者等基本法では、被害者を支援することは地方公共団体の責務とされ、対応窓口を設けることが要請されている。本町に窓口は設けられているか。この15年間で対応実績はあるか。

後藤住民課長

地方公共団体は、被害者が平穩



住民課に窓口があるでなくて 知らなんだ

な生活に戻れるよう、関係団体や関連部門と連携しながら総合的に支援することとなっている。本町では窓口は設けているが、対応実績はない。

—— 実績がないのは何故か。窓口の存在が町民に周知されていないためではないのか。

野上町長

犯罪被害者等支援窓口について理解や知識が十分ではなかった。

住民への周知が必要と考える。

—— 基本法の要請に依っていない。町の条例制定が必要ではないか。

町長

被害者への対応は重要と考える。条例の制定は全国の動向を見て研究する。

バス路線廃止に伴うタクシー助成要望に合わせ要綱改正する

—— 昨年12月1日から制度が始まったが、利用実績は。

中瀬総務防災課長

【12月】10名6万9000円、【1月】13名7万7000円、【2月】6名4万3000円 だった。

—— 住民より、助成額区分の変更とバスを利用していたバイク所有者への対応について要綱改正の要望が出ている。

総務防災課長  
4月以降要綱を改正し対応する。

## その他の質問

- 光ケーブル料金 高齢者世帯への負担軽減策を
- 東部広域農道 完工区間の保守は
- ドローンによる薬剤散布について

せんざい まもる  
仙才 守 議員

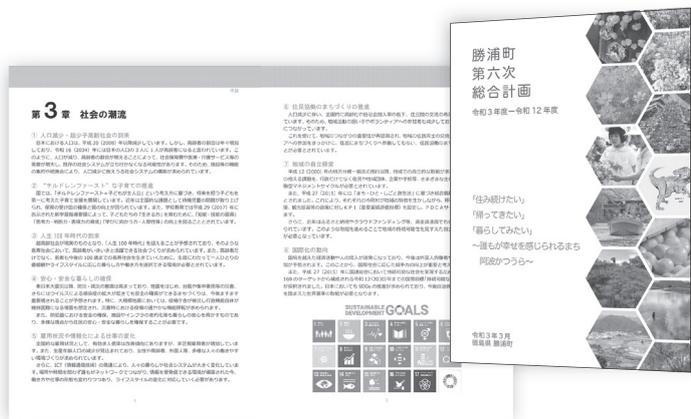
# 3年度予算 計画・戦略を基に 町民目線で取り組む

コロナ対策に振り回された1年  
病院改修着工・防災対策など完了

—— 令和2年度各会計で予定した  
施策は実行できたか。

野上町長

年度初めからコロナ対策に振り回された中で、7月勝浦病院改築工事の着工、防災対策として役場非常用電源整備完了、ハザード



マップは年度内完成、新年度に各地区に説明。学校タブレット等は4月から活用していく。

—— 新型コロナ対策補助は町民全体にいきわたったか。

中瀬総務防災課長

特別定額給付金（10万円／人）は5107人に給付済み（給付率99・92%）。簡易水道料金（含む未普及地域）支援金は2920万円、持続化給付金は103件1340万円の見込み。

—— 令和3年度当初予算の基本方針と重点施策は。

町長

これで新しい風は吹くのか  
新たな総合計画総合戦略のスタートの年であり、優先度を検証して町民目線で取り組んでいく。GIGAスクール構想事業、恐竜化石は専門アドバイザーを活用、県道の幹線道路整備、公共交通対策、

勝浦熟成みかんブランド化を進める。

令和4年4月の新病院開院に万全の体制で取り組む。防災専門アドバイザーや住民参画を促す広聴モニター制度等を導入する。

—— 別ステーション未設置地区設置に向け努力する

後藤住民課長

別ステーション未設置地区の管理と住民周知については、

—— 別ステーション未設置地区への対応は。

住民課長

住民課長

別収集ステーションの管理清掃活動は各地区の協力で実施。ごみの出し方等について広報誌、ホームページでの周知に加え、要望があれば職員が地区に出向く。

—— 別ステーション未設置地区への対応は。

住民課長

区の役員の方々と相談し、設置に向け努力をする。

## その他の質問

- GIGAスクール構想進んだか
- 恐竜化石発掘地の町有化について
- 恐竜による町づくりについて
- 新浜勝浦線狭あい部側溝改善要望の進捗は
- みかんの出荷状況、市況は



あいはら きくお  
相原 喜久男 議員

# 地元の説明なく 土砂搬入が始まった平石山鉦山

業者が説明するように指導

—— 地元は何の説明もなく土砂が搬入されたが、許可条件が守られていないのではないかと。町の対応は。

野上町長

3月12日に県からの連絡を受けた。その日の夕刻に四国経産局、15日には県へ「業者に説明をするように要請してほしい」と申し入れた。町から地元への連絡が遅く

なったことは申し訳なかった。

—— 17日に議長とともに5人で県へ行ったが、「今回は土砂の量（160m<sup>3</sup>）が少なかったので、指導はしなかったが、今後しっかりと指導をしていく。町へ早めに土砂搬入の連絡をする。」との回答であった。

今後、県の土砂搬入の説明会はあるのか。また、再度、四国経産局の説明会はあるのか。



ついに始まった土砂搬入

海川建設課長

国や県からの説明会は予定されていない。「業者に説明をするよう指導する」とのことだ。

—— 町民の安心安全はどうなるのか。災害が起こってからでは取り返しがつかない。町長の見解は。

町長

安全が担保されなければ、土砂の搬入を認めるわけにはいかない。

婦人の家廃止

6次産業化はかんきつテラスで

—— 婦人の家は、「稼げる施設」として、道の駅や産直市で売れる商品づくりの場として、改修するべきでないのか。

町長

かんきつテラスで開発された新商品で販売できる見通しが立てば、6次産業化

施設に取り組みたい。

—— 商品開発を成功させるためには、人材の確保が一番に必要だが、どうするのか。

町長

先進地への研修や、技術者を迎えるなど考えていきたい。

## その他の質問

- コロナ困窮者への対策を

い み ち こ  
井出 美智子 議員

# 行財政改革の推進のために 情報公開をしていきたい

## 町民の移動手段

### 3年度から課題を洗い出し検討

——町民の移動手段確保は最重要課題と考える。公共交通体制の早期構築に向け、スピードアップを図るべきだ。

野上町長

令和3年度から各課において課

題を洗い出し、勝浦町に必要な体系整備に向け協議を進めたい。

等を整備する必要があるのでは。

## 藤井税務課長

——住宅耐震化の関連予算が毎年多く余っている。対象家屋は何棟あるか。また、命を守る住宅の耐震改修促進に向け、戸別訪問を含め集中的に取り組むべきだ。

## 海川建設課長

## 町長

——学校給食は子ども達の成長をサポートし、食育の観点からも重要だ。給食センター運営について、民間委託を考えているか。

## 町長

——公平公正な徴税の推進に向け、地籍調査完了地の固定資産台帳への反映時期は。また、住民の理解を得るために、課税方針を示した要綱

## 古民家にも耐震化を!

### 公平公正な徴税推進のために 要綱等の整備を検討したい

——公平公正な徴税の推進に向け、地籍調査完了地の固定資産台帳への反映時期は。

また、住民の理解を得るために、課税方針を示した要綱

——学校給食は子ども達の成長をサポートし、食育の観点からも重要だ。給食センター運営について、民間委託を考えているか。

——公平公正な徴税の推進に向け、地籍調査完了地の固定資産台帳への反映時期は。また、住民の理解を得るために、課税方針を示した要綱

——行財政改革を強力に推進するには、住民の理解や協力が必要だ。ホームページ等で進捗状況を

中瀬総務防災課長  
——できるだけ情報公開していきたい。

積極的に公開すべきだ。

## その他の質問

- 産業振興
- 将来に向けた取組（保健センター等）

まつだ たかし  
松田 貴志 議員

# 円滑な移住のために コーディネーター増員

空き家45件のうち半数利用

—— 移住施策として、移住コーディネーターの増員と空き家バンク登録数の増加がある。  
コーディネーターの業務内容と空き家の利用状況は。

寺尾企画交流課長

移住コーディネーターは県の認定制度を利用したもので、県が行なう2日間の研修を受ける必要がある。

役割としては、移

住者にくらしの情報や地域のイベント、慣習を伝え、地域住民とのつなぎ作りをして円滑な移住に役立てるものである。

空き家は45件の登録のうち、28件が利用されている。

移住コーディネーターの育成を

町長による職員面談より厳しい態度で臨んでいく

—— 役場の事務処理にミスが多く、支払い遅延などで住民に迷惑が掛かっている。

る。政策監の現状認識と原因はどこにあると思うか。

大久保政策監

私の着任当初に比べると、減ってはきているが依然として多いと感じる。

原因としては、特定の職員の能力不足や管理職のマネージメント不足に原因があると思われる。

—— このままでは大きなトラブルに繋がりがかねない。どのような改善策が必要か。

政策監

罰則は難しいので、研修や強い指導が必要である。

—— 民間企業では部下の不祥事でも最後はトップが責任をとる。町長の対応は。

野上町長

課長以外の全職員との面談で個人

的な指導を行なっており、今後もより厳しい態度で臨んでいく。

私自身、一定のけじめをつける時期であると感じている。

その他の質問

- 鳥インフルエンザ発生時の対応は

しとみ こういち  
籔 公一 議員

# 町民の声

日ごろ、皆さまからいただいている声を、議員が町民代表として執行部へ投げかけました。



危ない！道に亀裂！



星谷運動公園北側の堤防上の亀裂の対策は。



堤防中央部分にクラック発生しているの、早急に県に現地確認を要望する。



平石山鉱山施業案認可に瑕疵（過失）があるのでは

経産省は残壁上部からの大規模な崩落の恐れはない」との見解だったが、町としては落石を懸念している。国の法手続き上の瑕疵については判断できない。

業者提出の施業案には、「大規模な地震を想定して設計」とある。地震発生時残壁上部からの落石で、盛土や排水路が破壊され、土の流出が懸念される。



就学前教育を充実してほしい

複式、単独クラス、それぞれメリット、デメリットがある。委託先の運営方針が基本であるが、町としても協議をしながら必要であれば支援も考えたい。

令和3年度、みかん保育園の5歳児クラスは7人で、対策が必要では。

保育園でも幼稚園教育要領に沿った指導計画を取り入れてきた。5歳児クラスは人数に限らず単独クラスで行い、就学前教育を充実させている。

坂本幼稚園が閉園して、幼児教育の役割は保育園に託されてきた。保育園での教育に関してどのような方針で取り組んできたか。



星谷運動公園のリニューアルは？

公園建設後27年が経過しているの、看板の建て替えなど、今後利用者の声を聞き対応したい。

「星谷運動公園」をどのようにリニューアルするのか。



全国9位となった議会だより86号

「議会だよりかつら」第86号  
コンクールで全国9位入賞  
議会だよりかつら第86号（2020年4月30日発行）が令和2年度全国町村議会コンクールで応募311点の中、優良賞（9位）を受賞しました。第83号（2019年4月30日発行）の奨励賞に続く入賞です。  
審査委員会からは「議会広報としてさらに充実し、紙面づくりも一段と洗練してきた。」（結婚式に取材した表紙写真、議会による「かつら創生総合戦略」の検証、裏表紙の連載「ワン・チーム」等が印象に残る。）（全体を通して余白の効果が生かされ、定例会の議事公開、追跡等も読みやすい）との好評価をいただきました。

# ぶっちゃけどうなの？議会広報

議会広報モニターアンケートの意見・感想です。さらに伝わりやすい紙面づくりや議会活動ができるように活かしていきます。



最近の表紙はインパクトがありいいと思う

写真がよくなれば手に取ってみてくれるようになる

議員さんのコラムなど日々雑感が分かる記事を読みたい

町民の声を聴く特集をもっと増やしてほしい

町内で頑張っている人活躍している人の記事を読みたい

「町民の声」は続けてほしい

事業の達成・未達の表示が分かりやすい

他の町の町政などを事例として紹介しては？

令和3年度の広報モニター決定！



各地域からご協力いただいている議会広報モニターですが、今年度は次の皆様にご協力いただきます。

櫻井健	山野浩史	日下瞳	中里スミエ	猪子有惟	出葉義和	唐渡永至	前田節子	西谷育栄	前田正仁
坂本	与川内	横瀬	中山	棚野	生名	星谷	中角	今山	沼江

(敬称略)

今年度に女性議会を開催したいと計画しています。女性の視点で日頃から感じている身近な課題について意見やアイデアを発言してみませんか。町政に関心を深める一つのきっかけになればと思っています。



役場の政策や制度が通るとき必ず議会の議決を必要とします。私達は、その政策や手段が私達の町にとって、また、町民のみなさんにとって良いものですよと意思決定します。さらにより良いものにするために改善の提案をするという仕組みもあります。

地点となりました。

議長コラム

勝浦 想生

地方創生への議長の想い

女性の声が届く町に。

桜の開花とともに、ようやく春がやってまいりました。1年でした。ちばん長いひな会議が終了し、私達の任期も約2年が過ぎ折り返し

地域に生きる

# ONE ワン・チーム TEAM

元気な勝浦に、もっと活気を。



隊長

美馬 友子さん

## 地域の人によりそい隊

### どんなグループ

メンバーは元看護職の人ばかりです。専門職として身につけた知識やスキル、経験を活かしたらと平成27年に結成しました。はじめは5人のスタートでしたが、今では16人になりました。平時は自主防災活動に協力しながら、災害時には「地域の人にそっと寄り添うことができれば」と思っています。



### どんなことしよんで

平常時にどんな備えがあればよいのか研修や訓練を行っています。

- 救急救命士による心肺蘇生法の講習
- 避難所運営の心得、環境整備
- 熊本災害派遣体験ナースからの備えについて
- 感染管理認定看護師による感染予防対策の実践
- 防災士会への研修や訓練に参加



### 今後の展望

顔を知っている人がそばにいるという安心感につながればと活動しています。

出来れば私たちの出番がないのが良いのですが、日頃から地域の方たち、自主防災組織と連携をとって災害に備えたいと思っています。仲間の輪が広がることを願っています。



## 町民の「笑顔」募集!

議会広報委員会では、みなさまからの表紙写真を募集しております。

テーマは「町民の笑顔」!

詳細は下記 URL または QR コードをチェック!



<https://formok.com/f/1chm9gnl>

4月16日には東京オリンピック2020聖火リレーが勝浦町内で実施され、当日は悪天候の予報でしたが、晴れ間がのぞく中、5名の走者がギリシャ・オリンピックで採火された炎を、7月23日の開会式会場に向けてしっかりとリレーしました。今後、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進むことで、誰もが安心できる環境のもと、五輪が開催されることを切に願っています。 松田貴志

## 編集後記

3月末に策定された「勝浦町第6次総合計画」の推進、目標達成は、町民の協力なしでは成し得ることができません。私たち議会も議会だより中心に情報発信に努めますので、今まで以上に町政全般に興味を持っていただき、意見提言をお聞かせください。